

「神戸ビーフ」関西空港から世界の食卓へ

日本を代表する高級ブランド牛が海外輸出へ

2 月 20 日(月)、関西国際空港から、高級牛肉ブランド「神戸ビーフ」が海外へ向けて本格輸出されることになりました。

今回輸出される神戸ビーフ 600 キロは、関西空港発のフライト(マカオ航空 NX837 便)にてマカオに輸出される予定であり、今後は米国などにも輸出先を拡大し、関西空港から世界へ、本物の神戸ビーフの味をお届けする予定です。(神戸肉流通推進協議会・エスフーズ株式会社)

関西空港では、かねてより「日本食の輸出促進」を地元自治体、経済界と連携して推進しており、昨年 10 月にはタイ・バンコク伊勢丹で開催された物産展(ALL 関西フェスティバル)にて、滋賀県の近江牛をタイ向けに初めて海外輸出したところです。

関西空港では今後とも、日本の食の安心・おいしいを海外の食卓に広めていくべく、航空輸送ネットワークの拡大とともに、食輸出ビジネスの拡大に寄与していきたいと考えております。



「神戸ビーフを名実ともに世界一の牛肉にするため、海外に販路を拡大していきたい」

神戸肉流通推進協議会会長 喜多 太見男

(当事業に関してのお問い合わせ先)

全国農業協同組合連合会 兵庫県本部 畜産部 畜産課 担当：寺尾 TEL：078-927-0327